

音楽ディレクターである福山氏が、京都学生人口約90万人の中から「京都版モーニング娘。」を作り上げる事を目標とした企画。既に13時を過ぎ、関西圏では本コーナーにスクワティングされる事が、デビューへの音響門とされていると評判。

Vol.14



リサーチんぐ娘。

アイドル発掘へ本格的に始動し始めたこの企画。今回は本企画のスクワティング部隊であるTRUTH PLANNINGのWEST氏に加え、本誌編集長もアイドル発掘に参戦。亀の甲より年の功、筋金入りの選挙戦でリサ娘。を審美して頂くことと相成った。リニューアル第一回目のリサ娘。は、なっぴん〜個性双生児のツインズだっ！

似てそ〜で似てない、でも呼吸はやっぱりツインズ

福山：先月の願叶ってオーディション初参加でしたけどどうでした？
編集長：イヤ〜楽しかったわ (笑) 親子くらい年離れてるけど同じラインで話せたしね。
WEST：それって彼女たちが老けてるのか、編集長が若いのかどっちなんだろうねえ…。
編集長：そんなもん当然、オレが若いに決まってるやん (笑)
福山：そろそろ本題に入りましょうか。今月のリサ娘。どんな印象でした？
編集長：うん、姉の朋香ちゃんは陽気でとにかくよう喋ってたなあ。要領のいいチャキチャキ娘って感じで。ハスキーボイスが魅力的やったね。
WEST：中学の時バレーボール部で声出し過ぎて、声変わりしたって言ってましたね。キャプテンも務めてたって言うし、頼れる姉御ってのがビシバシ伝わってきましたよ。
編集長：逆に妹の佳美ちゃんはシャイやったなあ。オッサンに囲まれて緊張してたかなあ (笑) でもそこに京女のおしとやかさが垣間見えた気がすんな〜。個人的には大好きなタイプ。まあ双子でも高校生にもなるとお互いの個性がハッキリしてきてオモロいな！
福山：でも似てるどころはやっぱり似てましたよ。二人ともカラオケの十八番は「浜崎あゆみ」だし、服も河原町OPA地下の「Cona Blue」とかCUBEの「Shoop」で買ってたってでしょ。後はOPA裏の「炎の焼焼き」によく食べに行くって。
WEST：二人で会話してるのを聞いてたら、天然の妹にツッコミ入れる姉御って感じがメチャ自然でしたよね。
編集長：そやろ、今回は「妹系アイドル」っていうより、「ツインズ漫才」で売ったほうがオモロイんじゃないか (笑) もう阿吽の呼吸がバッチリやろ！
福山：そーいや実家が東山で「あ・うん」っていうお好み焼屋やってるって言ってましたよね (笑) 二人人口を揃えて「焼焼きそばメッチャ美味い！」って。
編集長：よっしゃ、ほな親御さんに挨拶かねて、今から焼焼きそば食べにいきますか！



Entry.0018
飯田 佳美 (妹)
 いいだよしみ
 1987.2.23生まれの16歳
 身長155cm O型
 得意なことは「遊ぶこと」。
 門限が無いから自分で決めてやるけど、親に心配かけないで下さいよ！！

Entry.0017
飯田 朋香 (姉)
 いいだもか
 1987.2.23生まれの16歳
 身長163cm O型
 「何をしてても楽しくて仕方が無い!!」というポジティブガール。

「アイドル発掘リサーチんぐ娘。」では現在、うら若きアイドルの卵を大募集！ 自薦・他薦は問いませんが、興味のある方はdtj@m21.or.jpまでどしどし写メールをお送り下さい。

現在「リサーチんぐ娘」のHP制作中。HPでしか見られないPHOTO掲載。読者投票制による特別企画も予定！ 要チェック！

POWER PLAYS SOUND

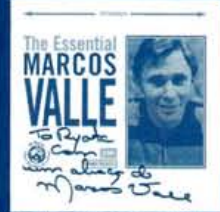
Music is moistened our life. Tasteful album is here. W'd like to find your recommended one.

人に音に触れ合いながら 自由な枠組みを操縦中



THE PAVILION OF DREAMS / HAROLD BUDD

Virgin Japan 2427円 (税込)
 「ピアニストである Harold Budd を電子音楽のジャンルのブライアン・イーノがプロデュース。ピアノ音楽なんだけど、電子音楽やアンビエントの要素が入って面白い。自分のピアノ作品「Piece of Mind」につながった一枚」



The Essential Marcos Valle / MARCOS VALLE

輸入盤
 「ブラジル音楽に興味を持ち始めた頃の一冊。ものすごくカッコいいことやってるんだけど、それでいてPOPなところがそれまで聴いていたものと違って、はまってしまって、ジャケットにはLiveの時のサイン付！」



TERRA BRASILIIS / Antonio Carlos Jobim

was Japan 2330円 (税込)
 ポサノヴァの巨匠・Antonio Carlos Jobim。「彼の数々あるアルバムの中でも一番のアルバム！ 珍しいピアノソロも入ってるし、全体をアレンジしているクラウス・オガーマンのアレンジにも賞にされました」



Jazztronik Horizon

Horizon / Jazztronik

徳間ジャパン 2000円 (税込)

6月に発売されたメジャーデビュー第1弾ミニアルバム。「夏に爽やかに聴けるものを」というリクエストに応えた、インストだけのアルバム。70〜80年代はインストに熱いがあった時代でしょ。今またオリコンチャートに入るような曲が作れないかな、と」

α-STATION 月曜26時も！
Jazztronik / プロデューサー
<http://www.jazztronik.com>

プロデューサーにしてDJ、リミキサーであり、キーボードプレイヤーであり、作曲家でもある。野崎良太氏の肩書きは幅広い。そしてJazztronikとは「野崎良太による自由なスタイルの音楽創造プロジェクト」。特定のメンバー、という枠組みを持たないことで、思うままに「音楽」に携わりたいというスタンスを形にしたのだ。その活動の発端を遡れば、それは高校時代。ふと耳にした「ジョージ・ウィンストンの「憧れ」を弾きたいと、幼少の頃に習っていたピアノの練習を再スタート。やがて「クライスラー・アンド・カンパニー」を知ってシンセサイザー音への興味もプラス。そして「ワンドサー」のアルバムを聴いてブラジル音楽の心地よさを知る。平行して存在するのは「大学の頃はクラブへ毎日通ってた」ほど好きなダンス音楽。セッションを楽しむスタイルが何より魅力のジャズ。ジャンルもやりたいこともひとつの枠でくくることは不可能。そう判断した彼は大学を卒業する頃、Jazztronikとしての活動をスタートさせた。基本はひとり、プラスアルファのセッションをも楽しむ彼の原点だ。

ダブルロールズ ミュージシャン



メンバー4人は前編での同僚。ただし現在、一人ずつが九州へ転居したため「ライブはたまーだ」、やるとなればとこさん、衣裳もツラも徹底的に準備。α-STATION 主催のアマチュアコンテストで特別賞を受賞した実績を持つ

同時通訳レベルの英語力を持つ岸良氏。「海外でセールスする時に、『今日契約してくれた方。ラッキーですよ！』このオリジナルCDがついてくるんです！」なんて言うのがうらやましい。音楽が趣味だと、と

Rhythm & Business info
 ■ライブ：未定
 ■E-mail: fq4y-ksr@asahi-net.or.jp

「現実」の二文字から二足の草鞋(ダブル・ロールズ)を天秤の皿の上で量りかざるをえない音楽人。夢と生業を計りにかけつつフルタイムで稼ぎ、音楽をこよなく愛する巨星、それが「ダブルロールズミュージシャン」。

Rhythm & Businessの Vol.06 岸良裕司

水戸黄門の印籠がたく
 垣根を払う共通言語だ！
 「ツェッペリンを愛する渋谷陽一氏が書いたライナー」を酒の肴に飲んだこと、これが「Rhythm & Business」の発端だ。メンバー4人はもちろんツェッペリンを愛していたが、何よりも「ハードロッカー」な理由はオーディエンス志向から、一方の本業、ハイテク産業界に響くマーケティングの巨星として認知され、京セラ全社のプロジェクトを統率してきた、ヘッドハンティングされた現在、ジャズスタジオ上場企業・(株)ビーイングの役員を務める、同一人物？と目を疑いたくなるが、間違いない。四季報と日経、弊誌、同時期に掲載される人間はおそらく有史料！ではあっても、「バンドが表キアラで仕事か裏キアラか、垣根がガシヤン」って無くなるよね、音楽が趣味だと、と